

さくら会*会報

植草学園大学に看護学部が誕生

学校法人 植草学園 理事長 植草 和典

植草学園大学に看護学部を設置する構想は、大学開設当初からありました。当時、理事長であった植草昭は、入院することが多くなり病院での看護師の必要性を感じていました。また、入院先の病院長から養成の打診もあったようです。開設の検討委員会までに至りませんでした。前理事長から看護師養成ができないものかと、何度か相談を受けたことがあります。その時は、保健医療学部で作業療法士の養成コースを開設することが優先であったこと、施設設備も不十分であったことから看護師養成は難しいと判断されました。看護学部の設置に動き出す切掛けは、千葉医療センター看護学校が閉鎖され、大学へ移行するための公募があったことによります。校舎が貸し出され、実習も千葉医療センターや他の国立病院機構の3病院で行えるという条件でした。教員については、千葉大学看護学部長の宮崎先生(令和6年逝去)が、看護学部設置に協力いただけることになりました。千葉医療センターと連携した看護師の養成、千葉駅前キャンパスに近いこともあり、よい看護師養成学部になると確信し設置準備が開始されました。



植草学園大学の看護師養成の特色は、高度な医療を学び、地域の人々と共に生きる共生社会(インクルーイブな社会)を創っていく看護師です。千葉医療センターでの実習を核として最新医療を学びます。また、街の保健室とも言える「地域創生ケアセンター」を都賀コミュニティセンター内で開設します。ここでは、簡易な健康診断や健康相談を受けることができる施設です。学生もスタッフとして関わることから、地域の方々と直接触れあうことができます。地域社会に密着し、医療を必要とする人達に寄り添うことのできる看護師の養成は、植草学園ならではの事業になると楽しみにしています。

昨年、植草学園は創立120周年を迎えました。今年は、短期大学や美浜幼稚園が閉鎖になりますが、看護学部が創設される重要な年でもあります。特に記念事業の計画はありませんが、学園のこれまでの歩みを振り返るよい機会です。そして、今後の学園のあり方や教育について、改めて考える年にしたいと思います。



ご挨拶

植草学園さくら会 会長 木村 昌代

同窓会会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
早いもので、さくら会が植草学園連合同窓会として活動を始めてから15年となりました。
これまでさくら会では、大学緑栄祭で「ビンゴゲーム大会」「大抽選会」を開催、毎年たくさんの皆様に楽しんでいただきました。売上金は植草学園教育研究振興資金、大地震や台風災害の被災学生への義援金として寄付させていただきました。また、ピオトープ祭りでのお汁粉作りや除草作業、整備活動に参加してきました。今後も植草学園の更なる発展のために協力していきたいと思ひます。

同窓生の皆様には、これまで以上に同窓会活動に関心を持っていただき、積極的に参加していただけますようお願い申し上げます。

さて、15回発行してまいりました「さくら会会報」は、今回をもって印刷物としての発行及び発送を終了させていただきます。今後は、学園ホームページより、情報を発信させていただきます。

最後になりますが、皆様のますますのご健勝を心からお祈りいたします。そして、同窓会活動への変わらぬご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

植草学園大学

会長挨拶

植草学園大学同窓会 会長 半田 貴大



いつも大学同窓会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。コロナが落ちつき平穏な日々が戻ってくると思いましたが、今年度はマイコプラズマ肺炎が猛威をふるっていますね、うちのベビーちゃんにもいつ感染するか…肝を冷やしているところです。卒業生の皆様もお変わりなくお過ごしでしょうか。日々元気に楽しく過ごされていることを願っております。

さて、今年度も同窓会活動の一環として卒業生の皆様にお声かけをし、緑栄祭にて模擬店を出店しました。

チーズボール、うどん、フランクフルト、わたあめ、古着販売等、多くの卒業生の皆さんのおかげで緑栄祭を盛り上げることができました。

皆様には感謝申し上げますとともに、来年度も共に出店いただけることを楽しみにしております。

また新規出店も募集予定ですので、ぜひご学友とご参加ください。当日の飲み代くらいは稼げるかも！

今後も皆様に楽しんでもらえるような企画・運営を行っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。各イベントでまた皆様とお会いできることを願っております。

先生からメッセージ



発達教育学部
長谷川 修治 先生

諺に曰く、「終わり良ければ総てよし」。長い人生では良いこともあれば悪いこともあります。しかし、「幸せな結末」になるかどうかは最後まで分かりません。物語には「どんでん返し」があるように、人生にも「逆転満塁ホームラン」があるかもしれません。創立から15年余り経過した植草学園大学は、現在、大きな岐路に立っています。この流れにどのように対応できるか、真価の問われるところです。そのような中、最近、私のゼミの卒業生がメールや電話をくれたり、会いに来てくれたりしました。四方山話をしていると時間のたつのも忘れず。「幸せ」の基準は人によって違いますが、皆さんの人生が実り多きものとなるようお祈りいたします。



保健医療学部 角 正美 先生

卒業生のみなさん。植草学園大学を卒業されてからの日々、いかがお過ごしでしょうか。職務に邁進されている方、新しい夢や目標に向かって進んでいる方、子育て真最中の方もいることでしょう。中には、忙しい日々で疲れて、休憩中の方もいるかもしれません。

大学時代はたった数年ですが、大学や教員との関係は一生ものです。人生の転機や節目の報告に訪れてくれる卒業生が多く、教員冥利に尽きるなと感じています。ただ、植草学園大学の敷居はもっと低く、何気ない日常の喜怒哀楽についても、ぜひお聞かせください！いつでもお待ちしております。

これからも植草学園大学は、みなさんにとって故郷のような存在でいられるよう、持続可能な大学として在り続けたいと思います。



保健医療学部 池田 恭敏 先生

作業療法学専攻1期生は卒後1年を経過し、概ね1人前の診療報酬／介護報酬を得る臨床の日々送っていることでしょう。2期生は今春から働く医療・保健・福祉の現場に期待と不安を抱えていることでしょう。いずれも試行錯誤の毎日、成功体験よりも失敗体験のほうがまだ多いのかもしれませんが、でも下を向かず成功も失敗も次に活かして日々成長していきましょう。迷ったときは、人に寄り添える作業療法士をめざした頃の自分や、インクルーシブの精神を学んだ大学生活を思い出すと、少し元気が湧いてくるかもしれません。もっと背中を押してほしいときは、迷わず大学に来てください！教員誰もが若かりし頃の失敗談を笑顔で語ってくれることでしょう。…ファイト！

学長挨拶

植草学園大学 学長 中澤 潤

看護学部看護学科(定員80名)の設置が、令和6年8月末に文部科学省から認可されました。充実した教授陣が新生を迎えます。周囲に看護師を目指したいという方があられたら、ぜひお勧めください。

発達教育学部は令和5年度末に小学校教諭21名、特別支援学校教諭25名、公務員保育士2名の成果を上げました。令和6年4月発行の大学ランキング(朝日新聞出版)で、本学は「保育士就職率」で前年度と同様全国5位、幼稚園教員+保育士採用者数では関東(東京以外)8位でした。引き続き教職・保育士への就職希望の実現に力を入れてまいります。

保健医療学部リハビリテーション学科の令和5年度末卒業生の国家試験合格率は、理学療法学専攻で過去最高の97.6%、初めて国家試験に挑んだ作業療法学専攻1期生が90.5%でした。教員の指導体制が実を結んでいます。

大学は令和7年4月から3学部体制となり、新たな船出を迎えます。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。



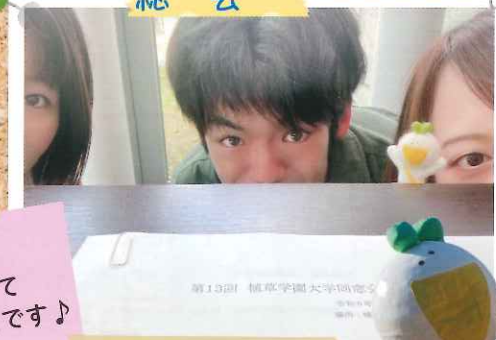
活動記録

ホームカミングデー



2024.6.23 Sun

総会



2024.5.25 Sat

皆さんにお会いできて嬉しかったです！

緑栄祭



卒業生の皆様にもご協力いただき、複数の模擬店を出店しました！ご参加くださった皆様、緑栄祭にお越しくださった皆様、ありがとうございました(^^)

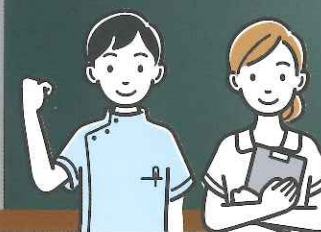


2024.11.9 Sat・10 Sun

Topics

2025年4月
看護学部が開設します!!

卒業生のお知り合いの方にもお知らせください。



編集委員より

今回で15号目となる会報ですが、紙媒体で皆様にお届けするのは今回が最後となります…。写真の提供などご協力くださりありがとうございました。大学同窓会ではInstagramでも情報発信しているので、ぜひフォローしていただければと思います(^^)看護学部が開設し新校舎が増え、当時とは違う雰囲気を楽しむことができるかもしれませんので、いつでも遊びに来てください!!またみなさんにお会いできる日を役員一同楽しみにしております(^^) / 植草学園大学同窓会 役員一同

Instagram

植草学園大学 同窓会アカウントにて同窓生の皆様へ向けてゆる〜く情報発信中!!
こんな情報がほしい! などご意見・ご要望ありましたらどうぞお寄せください!



植草学園短期大学

会長挨拶

植草学園短期大学同窓会 会長 渡邊 桃子
(児童障害福祉専攻18期生)



卒業生の皆さんこんにちは。お元気ですか。日頃より同窓会活動へのご協力をいただきありがとうございます。

短期大学は今年度の卒業生を最後に閉学となってしまいます。母校がなくなる寂しさはありますが、短期大学で皆さんが学んだことや楽しい思い出はい

つまでも残り続けると思います。卒業生の皆さんがこれからも様々な場所でご活躍されることを願っております。

また、会報の発行も今回が最後となりますが、今まで以上に卒業生のみなさまに同窓会活動に関して発信していくのかを、役員で検討していきます！

学長挨拶

植草学園短期大学 学長 中澤 潤



短期大学は令和7年3月をもって閉学となります。同窓会の皆様には、長きにわたり短大へのご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げますとともに、閉学に至りましたこと、深くお詫び申し上げます。短大教員一同、最後の学生となる現2年生が希望の職につけるよう支援してまいります。

今後は同窓会が短大卒業生の唯一の拠り所となります。卒業生が学園との絆を繋ぎ、学園の発展を末長く見届けられますよう、同窓会のお力を発揮していただけるよう、お願い申し上げます。

今年度活動報告

令和6年5月25日(土)

植草学園短期大学 同窓会総会・職場を語る会



たくさんの卒業生、先生方にお集まりいただき、アイスブレイクをしたりフリートークをしたりして楽しい時間を過ごしました。

令和7年1月25日(土)

植草学園短期大学特別公演 ～ケロポンズ保育セミナー～

ケロポンズをお招きし、2年生・卒業生にお話ししていただきました！



来年度活動予定

令和7年5月

植草学園 短期大学

同窓会総会ティー&トーク

(詳しくはホームページをご確認ください！)

最後の集まりとなる予定です。
たくさんのご参加をお待ちしております！



寄贈 ～屋内時計～

植草学園創立120周年記念 植草学園短期大学同窓会

短期大学のメモリアルとして、A棟前芝生に設置されました。
母校にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

～先生方よりメッセージ～

堀 彰人 先生



植草マインドを
いつまでも
大切に！

佐藤 慎二 先生



たくさんの
思い出を
ありがとう！
心から感謝！

松原 敬子 先生

とびきり素敵な
自分になろうね！
by じゅり



久留島 太郎 先生

3冊の分厚い解説を
背負ったこと
忘れずに！



園川 緑 先生

桜咲く学園の
春のように、
皆様の心にも
花が咲きますように



植草 一世 先生

子どもたちの
未来のために
愛と笑顔を
届けてね



田村 光子 先生

植短卒業生に
幸あれ！
一層のご活躍を
期待しております



根本 曜子 先生

ひたすら頑張る
皆さんに
励まされて
きました



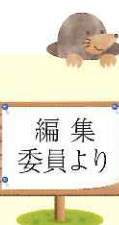
相磯 友子 先生

初心を忘れずに！
見かけたら
声をかけてね。



石井 恵子 先生

努力にコスパは
狙えない、
地道にがんばろう！



編集
委員より

今年度はたくさんの卒業生にご協力をいただき、本当にありがとうございました。卒業してからも、さまざまな場所で活躍されているみなさんとたくさんお話しできたこと、とても嬉しく思います。
そして、みなさまにこうして会報をお届けするのは今年度で最後となります。今後はよりたくさんの方に見ていただけるよう、さまざまな形で、発信していけたらと考えております。今後とも同窓会活動にご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

植草学園さくら会会報編集委員 伊藤 楓

植草学園大学附属高等学校

会長挨拶



同窓生の皆様、いかがお過ごしですか。

いつも同窓会活動にご協力とご理解をいただきましてありがとうございます。

昨年、高校は創立45年を迎えました。高校同窓会は同窓生数11,640人を超える大きな組織となりました。ご縁のあった先で、本校の卒業生の方とばったり会うことがしばしばあります。あちらでも、こちらでも同窓生の皆様が活躍している様子を伺い、本当に嬉しく誇らしく思います。

植草学園は、明治37年の千葉和洋裁縫女学校発足以来、一貫して誠実・努力・謙譲を校訓とし、人格の形成に取り組んできました。この伝統的精神は、高校創立45年を過ぎた現在でもしっかりと引き継がれています。

これまでの長い歴史と伝統を守りながら、時代の変化とニーズに敏感に対応し、新しい未来へと歩みを続けていきます。今後とも植草学園大学附属高等学校のますますの発展のために、同窓生の皆様のお力添えをいただきたくお願い申し上げます。

植草学園大学附属高等学校

会長 木村 昌代

謙 努 誠 校訓
讓 力 実

母校で教育実習



2024年9月、残暑というよりは猛暑が続いていたうんざりするような気候のなか、爽やかな風が吹きました。令和2年度に卒業した3名の教育実習生です。写真左から淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科から 佐藤りん先生
明海大学 外国語学部 日本語学科から 能勢舞桜先生（卒業時担任：黒川依子先生）
鹿屋体育大学（鹿児島県）体育学部から 久保田梨琉先生（卒業時担任：北川照代先生）
それぞれに母校での教育実習で感じたことをお聞きしました。

佐藤 りん 先生

想像よりも楽しく過ごすことができました。生徒との関わりが大変貴重でかけがえのない瞬間をいくつも体験することができました。教育とは教科指導・生徒指導という枠組みを越えて、何気ない

会話を通して人として関わっていくことが大切なのだ実感しました。高校3年生のときに進路に悩みなかなか決められずにいたところ、当時担任だった黒川先生の「教師に向いている」の一言で、教員を目指すことにしました。この教育実習を通して黒川先生の目は確かだったとありがたく思っています。

3人とも口をそろえて言っていたのが、生徒との関わりが素晴らしい経験だったということです。それにより教員になりたいという気持ちがさらに強くなったそうで頼もしい限りです。昨今教員不足は社会問題になっています。コスバ、タイパが悪いと避けられるようです。もちろん教員は向き不向きがあります。しかしこの仕事で得られるものはプライスレスです。未来を担う尊い志を母校はいつも応援し見守っています。

能勢 舞桜 先生

この教育実習を通して私は先生方に恵まれていると感じました。元担任の黒川先生にもたくさん助けていただき

ました。最近の授業ではICTの活用が盛んで生徒達もクロームブックを使いこなしているのが印象的でした。大変なこともありましたが自分がとても成長できたことを感謝しています。高校進学するとき植草を選んで本当に良かったです。

久保田 梨琉 先生



思った以上にあっという間の3週間でした。

最初はとても緊張しましたが、生徒から話しかけてくれてとても嬉しかったです。日誌に私のことを「くぼちゃん」と書いてあるのを見たとき、笑ってしまいました。もっともっと話したかったし、もう終わってしまうのかと名残惜しい気持ちがしました。

麗峰祭2024 植草好きになりました～麗峰編～

10月5日(土)コロナ禍以来、縮小したり食品の取り扱いなどを制限したりして実施してきた麗峰祭、今年はすべてコロナ禍前通りに実施することができました。多くの卒業生が母校を訪ねてくださり、とても嬉しい思いです。もっと多くの卒業生が来校していたと思います。お写真撮れなかった方々ごめんなさい。来年もお待ちしておりますね！



在校生の発表はいかがでしたか？圧巻のバントトワリング部、本格的なフラダンス部、大人気ダンス部、ほのぼのの愉快な吹奏学部、ソフトテニス部のうどん、バレー部の焼き鳥、なぎなた部のフルーツポンチなどなど、本当に生徒ひとりひとりが力を発揮して、大盛況な文化祭でした。卒業生のみなさんも懐かしかったことでしょうか。お子さんを連れて来てくださった方も多く楽しんでいる様子でしたね。先生方にとって卒業生の子どもは孫同然！？可愛くてたまりません。いつも忙しくしている先生方ですが卒業生の来校嬉しくまた励みとなります。母校はいつも「千葉駅から5分」のところにるので、また来てくださいね！

私たち母校を支えています！

同窓会長の木村昌代先生と
[なんちゃって]ライター竹村が
高校で教鞭を執っているのは有名ですが、
他にも高校を支えている職員がおります。
そのような同窓生職員を紹介します！



事務室の山縣さん(左)、
石澤さん(右)

まだまだ高校生のころの面影を残しているお二人ですが、職歴は？今や高校にとってなくてはならない存在、大戦力です。



英語科の長谷川先生。
竹村先生に続いて高校卒業生の
教員は長谷川早乃先生。
「いつも子どもたちから元気をもらって頑張っています！」
2005年(平成17年)3月
岩梨学級卒業



国語科非常勤講師の石田先生。
なんと1年生のときは竹村が担任でした！

「2016年度に佐藤ルームを卒業しました、石田まりもと申します。国語科として勤務しています。大好きな母校でお世話になった先生方と働けていることが、今でも夢のようです。国語の楽しさを伝えられるように引き続き尽力して参ります！」

母校で働くとは、生徒の時とは打って変わり良いことばかりではありませんが、植草学園大学附属高等学校が今後ともますます栄えていくように、一丸となって今後も頑張ります！

編集後記に
変えて

竹村から
ピンクリボンへの思い



卒業生のみなさまこんにちは。今回このような冊子では最後となる【さくら会報】お楽しみいただけたでしょうか？今後はInstagramをフォローしていただき、[イネ！]をたくさん押していただけるとありがたいです。

私事ですが、2022年がん検診を受けた際、乳がんにかかっていることがわかりました。もともと楽観的な性格なのでまあなんとかなるだろうと思っていましたが、結果として左胸を全摘し腋窩リンパ節郭清したことによりリンパ浮腫となり、スリーブとグローブをいつもしています。抗がん剤治療を受けたため、髪の毛がすべて抜け、今は高校生以来のショートカットを染んでいます。仕事は約1年間休職しました。私は50歳にもなるので失った物事についてのショックはさほど大きくありませんが、もし出産を考える時期だった

らなどと考えると、がん治療の決断の難しさを思わずにはいられません。しかしこの場を借りて皆様に伝えたいことは、癌検診を受けてください、ということです。医学の進歩は日進月歩、癌とはいえもはや恐れるにたりません。早期発見、早期治療により生存率はぐっとあがります。またたとえ病状が進んでいたとしてもそこから始められる治療が見つかるはずです。根治でなくともQOLをあげるなど、そのときの自分の人生をよりよいものにしていく可能性は必ずあるのです。癌のみならず、さまざまな困難と闘っている皆様、母校はいつもここにあり、皆様のご多幸をお祈りしています。決してひとりぼっちだとは思わずに、植草学園大学附属高等学校、植草学園文化女子高等学校の卒業生であることを思い出してください。

Instagram始めました！ uua.sakurakai

植草文化服装専門学校、植草家政高等専修学校同窓生より

植草家政高等専修学校 被服科 昭和56年度卒業 井久保 明美さん (旧姓 西川)

♪ 豊峰富士の気高さを〜

学園での校歌。懐かしく口ずさむ時がある。

千葉東高校通信課程と植草家政高等専修学校。四年間で高校卒業と服飾の準教員免許を取得。昭和56年度卒業。通信課程ではレポートを提出し、試験もありスクーリングに参加。服飾では、和裁での手縫いで浴衣や着物製作、洋裁技術の作品を、4人に1台のミシンを調節しながら(足踏みミシン)スーツ、礼服、ウエディングドレス等々製作。沢山の作品を手がけ、毎年の文化祭ではファッションショーが何よりの楽しみでした。製作は勿論生徒がモデルになり、皆様へお披露目。素晴らしいステージに感動でした。学園ではクラブ活動にお菓子クラブがあり、クリスマスの時にはクリスマスケーキをこれでもかというくらい焼きデコレーションして、施設へお届けし、喜ぶお声を頂き嬉しく思ったことを覚えています。

卒業後43年。縫製からは離れましたが、結婚し家庭に入ってから、お菓子やケーキ、ママコートから子供の服、帽子小物等を手作り

しながら学園で培った技術をフル回転させ、生活に密着し、還暦を過ぎた今でも学園での恩師、又植草ゆう先生、植草昭先生のご指導の賜物と感謝しております。姪っ子も短大でお世話になり、今ではケアマネージャーとして介護の道で頑張っています。進む道は様々でも学んだ学び舎は同級の友と今も繋がりが、かけがえのない財産となりました。人生の原点となった学園生活に感謝が尽きません。今回このような機会を頂き光栄と感謝致します。



後列の一番右側が井久保さん
(新聞紙を使ったドレス製作)



右から2人目が井久保さん
(特別授業、調理自由実習)

植草幼児教育専門学校

会長挨拶

植草幼児教育専門学校同窓会
第14期生 会長 小笠原 晴代



美浜幼稚園を卒園した
岸さんと一緒に

『幼専』が閉校してから早いもので16年が経ちました。令和7年度は看護学部開設と医療に強い学園へと発展していく中、実は今でも大事に残されている『植草幼児教育専門学校同附属幼稚園』の木製の看板。文字は少し見えにくくなっていますが、皆さんが通学していたあの玄関に今も掲げられています。看板を見る度、学生時代を思い出し心が温かくなります。お近くにお越しの際は、ぜひご覧になってはいかがでしょうか。道路向かい側にはゆう先生も見守ってくださっていますよ。

同窓会の運営において現状維持を心掛けて参りましたが、近年役員の減少により運営が難しくなっております。今後の運営における変更点等はHPでお知らせをします。ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

同窓生の窓 植草幼児教育専門学校 第17期生 関 公子(旧姓 古山)

私が植草幼児教育専門学校を卒業してかなりの月日が経ち子ども達を取り巻く環境は大きく変化しています。デジタル化、グローバル化、価値観の多様性などいろいろある中で、自分の保育観も変わりました。保育をする上ではもちろん変えてはならない部分はあるものの、変えなくてはならない部分も多く、日々悩み保育の現場でより良いものを探し求めています。しかし本当にこれで良いのかと迷う事も少なくないのも事実です。そんな時頼りになるのはあの頃の友達でプチ同窓会の開催となるのです。なかなか会えない中ですが会えばすぐにあの頃に戻り、会話のテンポもよく、「そうそう!」「ねえー!」と次から次へと話が尽きません。自分の中でなかなか気持ちの整理がつかない事で友達にはストレートに相談でき、アドバイスは素直に受け入れられる、そんな友とのプチ同窓会は心の支えとなる大切な会です。帰る時には足が痛い、腰が痛い話になりますが(笑)それもみんなとなら笑い話!元気をもらえる素敵な会、今でもずっと植草で得た大切な宝物です。



プチ同窓会で同期の皆さんと一緒に



これまで会報の発行のため、多くの同窓生の方に寄稿のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。コロナ禍以降、唯一対面にて語らうのできる場であった同窓会の開催も難しくなりましたが、これまでもこれからも、心のふるさとであることに変わりはありません。同窓生の皆様との繋がりを大事にしながら、発信の方法を模索して参りたいと思います。

植草学園さくら会会報編集委員 小太刀 彩子・堀井 愛美・内山 香菜・小林 亜紀子

植草幼児教育専門学校同窓会へ寄付していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。大切にさせていただきます。

会報誌 記事募集

会員の皆様とつながりの場になればと思いますので、プチ同窓会の様子、勉強会の様子など、さくら会会報誌に記事をお寄せください。なお、就職に関する情報等もお待ちしております。

大学キャリア支援課(もしくは各同窓会役員へ)『sakura@uekusa.ac.jp』へお送りください。

令和6年度 植草学園さくら会役員

- 顧問 植草和典 中澤潤 ※令和7年度は総会後に決定します。
- 会長 木村昌代
- 副会長 小笠原晴代 渡邊桃子 半田貴大
- 監事 吉野節子 吉野碧
- 理事 齊藤京子 景山明子 鈴木朱美 小林鶴枝 信田一美 岡田眞貴子 竹村美紀 伊藤楓 内山千里 菅谷咲稀 道正夏生 岡田真帆 坂本愛 渡邊真由
- 企画委員長 岡田眞貴子
- 会報編集委員長 渡邊真由
- ホームページ委員長 坂本愛 ● 代議員 各校より計19名
- 大・短同窓会協力委員会 鈴木瑛貴 荒金房子 池田恭敏 千葉諭 松原敬子
- 高校協力員 田村尚雄 ● 学園事務局長 宮尾孝 ● 事務局 カリヤ支援課

植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「学園について」→「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

URL <http://www.uekusa.ac.jp/>

住所変更に関することは各同窓会係まで

大学・短大・幼専：キャリア支援課 043-233-9080

高校：附属高校 043-252-3551